

養成研修の防災プログラムにて実施をしたグループワーク

アクションカード 説明資料

アクションカードの作成

～いざという時に備えて～

過去の大災害で災害対応をした人の記録を見ると、
つまづいた原因は**指揮命令系統の不明瞭さ**と**情報管理の不十分さ**を挙げている・・・

※中島康著「アクションカードで減災対策」より抜粋

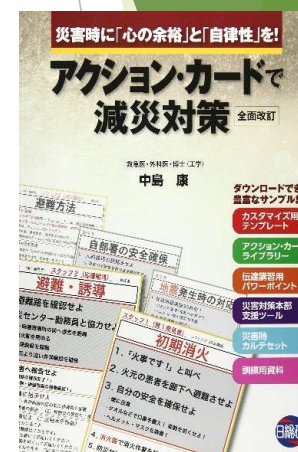
そもそもアクションカードとは？

- 緊急時に行動を促すための事前の「指示書」

カードに沿って日頃から訓練することで、避難所開設のような緊急事態発生時にでも行動や作業を漏れなくスムーズに進めるもの。

- いざという時のための「安心材料」

アクションカードを持つことにより、心の余裕とパニックの防止を図ることができる。



救急医・外科医・博士
中島 康 先生著

ガイド役となるアクションカード

災害発生

【大雨による大規模洪水の発生】

アクションカードをもとに行動の明確化

- ①災害発生時に取るべき具体的な行動
- ②行動の優先順序を決める
- ③行動をする上での注意点

避難所開設

【避難所開設の初動運営を明確化】

実際にアクションカードを作成しよう

「大雨」により警戒レベル3の災害が発生

- 全国約300カ所の海洋センター体育館では約半数が有事の際の「避難所」指定されている
- 養成研修を終えてセンター指導員になれば施設管理者として避難所開設の初動運営を任せられる
- そこで「災害発生」から「避難所受付開始」までの開設手順、行動、留意点についてグループごとに考える。
 - ・ 4項目の手順についてそれぞれ行動を考える
 - ・ それぞれの手順に考えられる行動を付箋に書き出す
 - ・ 指示がありすぎても困るため、重要行動を考える

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保!	既に災害が発生・切迫している状況です。命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。	緊急安全確保 (市町村が発令) ※市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~		
警戒レベル4 危険な場所から 全員避難	災害が発生する危険が高まっています。速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。	避難指示 (市町村が発令) ※避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令されます。
警戒レベル3 危険な場所から 高齢者等は 避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)

## ゲーム説明 (5分)

【以下の項目を並び替えてみよう！】

- まず、以下4項目（6項目）の行動手順を並び替えてみよう

レイアウトづくり

避難所施設の鍵の開錠

受付の開始

避難所施設の安全点検



## ゲーム説明 (5分×4項目=約20分) 【それぞれ付箋で意見を出してみよう!】

- 次に、それぞれの手順に取るべき行動というものを考えて付箋に書き出してみよう

レイアウトづくり

避難所施設の鍵の開錠

受付の開始

避難所施設の安全点検

# ゲーム説明

## 【それぞれ付箋で意見を出してみよう！】

- 次に、それぞれの手順に取るべき行動というものを考えて付箋に書き出してみよう

### レイアウトづくり

- ・避難所に必要なスペースはどういったものが考えられるか  
(例)炊きだしスペース

### 避難所施設の鍵の開錠

- ・施設の鍵は普段だれが持っているか
- ・災害時に施設は誰が開けるのか

### 受付の開始

- ・受付時に行うこと  
(例)避難所利用者の登録および記入

### 避難所施設の安全点検

- ・外観および内観のチェックすべきところ  
(例)建物の傾きや沈下の恐れはないか
- ・もし危険だと判断した場合にはどうすればよいか